

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成21年4月9日 (2009.4.9)

【公表番号】特表2008-537479(P2008-537479A)

【公表日】平成20年9月18日 (2008.9.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-037

【出願番号】特願2007-558195(P2007-558195)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 K 8/65 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/85 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/365 (2006.01)

A 6 1 K 8/36 (2006.01)

A 6 1 K 8/29 (2006.01)

A 6 1 K 8/27 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/35 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 8/40 (2006.01)

A 6 1 K 8/46 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

C 0 7 K 14/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

C 4 0 B 60/12 (2006.01)

C 4 0 B 40/10 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 Q 1/68 Z N A A

A 6 1 K 8/65

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 8/85

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/365

A 6 1 K 8/36

A 6 1 K 8/29

A 6 1 K 8/27

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/35

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 8/49

A 6 1 K 8/40

A 6 1 K 8/46

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K	7/08	
C 0 7 K	14/00	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 N	15/00	A
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/15	Z
C 4 0 B	60/12	
C 4 0 B	40/10	

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- a) DNA 会合ペプチドのコンビナトリアルライブラリーを準備し、
- b) (a) のライブラリーを皮膚試料と接触させ、ここで、皮膚が DNA 会合ペプチドと複合して DNA 会合ペプチド - 皮膚複合体を含んでなる反応溶液を形成し、
- c) (b) の DNA 会合ペプチド - 皮膚複合体を反応溶液から単離し、
- d) (c) の単離された DNA 会合ペプチド - 皮膚複合体を身体洗浄組成物マトリックスと接触させて、ペプチド - 皮膚複合体 - 組成物混合物を形成せしめ、ここで、身体洗浄組成物マトリックスの濃度が少なくとも 10 % のフルストレンクス濃度であり、
- e) (d) の DNA 会合ペプチド - 皮膚複合体をペプチド - 皮膚複合体 - 組成物混合物から単離し、
- f) (e) の DNA 会合ペプチド - 皮膚複合体のペプチド部分をコードする DNA を増幅し、そして
- g) 身体洗浄組成物抵抗性の皮膚結合ペプチドをコードする (f) の増幅された DNA を配列決定し、ここで、身体洗浄組成物抵抗性の皮膚結合ペプチドを同定する、ことを含んでなる身体洗浄組成物抵抗性の皮膚結合ペプチドの同定方法。

【請求項 2】

ステップ (e) の後、

- i) DNA 会合ペプチド - 皮膚複合体のペプチドを溶出剤と接触させ、それにより DNA 会合ペプチドの一部を皮膚から溶出させ、かつ DNA 会合ペプチドの一部を複合されたままにし、そして
- ii) (i) の溶出または複合された DNA 会合ペプチドをステップ (f) および (g) に付す

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

ペプチドをコードする DNA を、

- a) ポリメラーゼ連鎖反応、および
 - b) ペプチドをコードする DNA を含んでなるファージを宿主細胞に感染させ、かつ宿主細胞を適切な成長培地で成長させること
- よりなる群から選択されるプロセスによって増幅する請求項 1 または 2 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 4】

ステップ (f) の増幅された DNA によってコードされたペプチドを新しい皮膚試料と接触させ、かつステップ (b) ~ (f) を 1 回もしくはそれ以上の回数繰り返し、ここで

ステップ (d) を 1 回もしくはそれ以上の回数繰り返すのがよい請求項 1 または 2 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

DNA 会合ペプチドのコンビナトリアルライブラリーを身体洗浄組成物マトリックス中に準備し、そして皮膚試料と接触させて、DNA 会合ペプチド - 皮膚複合体を含んでなる反応溶液を形成せしめ、ここで身体洗浄組成物マトリックスの濃度が少なくとも 10 % のフルストレンクス濃度である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

配列番号 8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、および 27 よりなる群から選択される身体洗浄組成物抵抗性の毛髪結合ペプチド。